

平成22年5月26日

修了生によるオムニバス講義を開講しました**～社会人大学院 マネジメント専攻～**

社会人大学院であるマネジメント専攻は、平成12年4月1日の設置から10年を経て、修了生は200余名になりました。その修了生が講師を務める、オムニバス講義「日本の組織と経営」を平成22年4月に開講しました。

マネジメント専攻では、企業をはじめとしてさまざまな組織に所属している院生が、職場でのマネジメント課題を持ち込み、精緻な理論研究に基づいた指導によって解決を図り、再び実践に戻すという「課題－理論－実践サイクル」のもとで教育・研究を行っています。本専攻の修了生により、優れた実践が多く職場でなされています。

今回開講したオムニバス講義「日本の組織と経営」は、これまでの実績を専攻の教育・研究に生かすものです。修了生が8名ずつ前期と後期に別れ、それぞれ2コマを担当します。最初に自らが所属する組織・職場の業界としての概要を講義し、続いて、業界・組織・職場で生じるマネジメント課題をどのように捉え、研究に持ち込み、そして、実践したかについて講義します。それは、まさに「課題－理論－実践サイクル」を修了生がどのように回したかを明らかにするものであり、在学生に対する高い教育効果が期待できます。

今日、修了生との接点を持たない社会人大学院が多い中、専攻、在学生、修了生を結び付けるこの新しい教育・研究システムは、社会人大学院としてひとつの方向を示すものといえます。

【問い合わせ先】

社会科学部研究科マネジメント専攻長

村松潤一

TEL:082-542-7045、FAX:082-542-7045